

大津島データ 157世帯
人口 212人 男 85人 女 127人
高齢化率 79.7%
(令和3年5月31日現在)

潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん



4月1日(木)より刈尾港浮
架橋の係留チェーン及びアン
カーブロックの工事が行われ、
大津島巡航船(鼓海II・フェリ
ー)が10時から16時30分の間、
刈尾港を抜港していましたが、
6月30日(水)の工事終了によ
って、7月1日(木)より通常
運航に戻ることになりました。

刈尾港浮架橋工事が終了しました

▼報告者：大津島支所 沖 武士



「島民の方々は、刈尾港の浮架橋が台風等の災害の影響を受けることなくあります。」



大津島内では、島食堂ひなたにて700円にてご購入いただけます。

文：池脇 信一

大津島の「豊かな恵みを祝う」をコンセプトにした島のブランドSUDOMI(一般社団法人磊ノ島が運営)から「大津島しほりすだいだい」が販売を開始しました。大津島では、伝統的に植えられるきたすだいだいを使ったクラフトビールになります。周南市を中心として、道の駅、TSUTAYA書店、ホテル、レストランなどで順次販売予定です。

以前販売されていた「島麦酒すだいだい」よりも、泡立ちや風味が改良されたことで、より一層美味しくなっており、芳醇な香りの柑橘ビールに仕上がっています。

私たちが慣れ親しんできた瀬戸内の島々の風景が、近年、実は海外から注目を集めています。それに伴い、離島にあった文化や伝統、豊かな自然の希少価値などが再認識され始めました。

美しい海と風、陽を浴びた柑橘、島の人たちの笑顔しほ。そんな、島の当たり前が社会の憧れになり始めています。素朴であっても、本当の豊かさに満ちた島の恵みを、もっと多くの人たちに知ってもらいたい。目まぐるしい社会に向かつて、穏やかな自然の海風を届けたい。SUDOMIはそんな想いを、すだいだいビールに込めました。

すだいだいビール 販売のお知らせ



次回は収穫(あれば)しているはずなので、結果報告をお待ちください！

(イノシシ用の柵3万円強は除く)さて肝心のすばら、失礼自然農法。茄子はまだ良いのですが、ピーマンはほぼ全滅。キュウリ、ゴーヤーは1/3程度の成長です。ピーマンについては虫が高確率で葉を食べています。それだけ美味しいのでしょね。逆に言えば、虫も食わない野菜を人間は食べていることになるわけですが。(聞)

未曾有の梅雨入りの早さの中、異常な雑草畑仕事もすばらに続けています。玉ねぎは予想外にマシにできました。多くの方から「玉ねぎ大きくなったねえ」と言ってもらえていて嬉しい限りです。50株50円で西〇ジョイで購入したので玉ねぎとしては元が取れたかなと。写真が最後の収穫。100株のうち、70株程度は形にはまりました！

不慣れな畑づくり
シリーズ ③

文＝内山 剛



大津島公園クリーンUP作戦

文：高松 常登

若潮の会通信

No.39

「ピン・ポン！」若潮ラインからのお知らせ：「4月3日、大津島公園の猪が掘り起こした地面の整地と松ぼっくりの収集清掃をします。参加できる人は、お願いします。」



「子供の頃よく遊んだ公園の整備か、これは何としても参加せねば！」と言うことで大津島公園の整備に参加しました。まずは、掘り起こしの状況写真ではよく分からない地面の凹凸程度を見に、花見がてら一週間前に現地へ行ってきました。行って実際の凹凸地面を見て「これは、とても人力だけでは無理だな」と思い、代表と相談の上、重機を持って行くことにしました。

そして当日、10時から「整地隊」と「松ぼっくり拾い隊」に分かれて作業開始です。私は重機に乗って整地作業です。作業予定は12時まで、全員で気合を入れて作業に励みました。2時間と言った短い作業時間でしたが、松ぼっ



くり拾い隊は軽トラいっぱい松ぼっくりを拾い集め、整地隊は人が歩ける程度に整地が出来ました。作業終了直後から、観光客の姿もちらほら。綺麗になった公園を見て「猪よ、もう掘り起こさないでくれよ」と心の中で祈りつつ、「来年の春には、この桜の下で宴会が出来れば良いなあ」と願いました。

② スーパームーンの皆既月食を見損ねて思うこと



文一回天記念館
佐伯 孝洋

多くの皆様も5月26日の夜の天文ショーを楽しみにされていたのではないのでしょうか？しかし残念ながら雨のため見る事が出来ないままでした。

今回はスーパームーンの皆既月食ということで非常に楽しみにされてた方は多いのではないのでしょうか？

日本で観察できるのは3年ぶりというので期待してたのですが・・・

次に日本で見える事ができるのは12年後の2033年10月8日だそうです。忘れそうです。今回の皆既月食を邪魔したのは、早すぎる梅雨入りのせいでもあるなと思います。

5月15日に、梅雨入りし、平年に比べて20日、昨年より27日それぞれ早いそうです。早く梅雨入りした

ら梅雨明けは早いと期待したのですが、どうもそうではないようです。梅雨明けは、ほぼ平年並みになるようです。長い梅雨で災害が起これなければいいなと思っています。ところで「平年並み」を調べてみました。過去30年間の観測値を平均したもの「平年値」といい、これと比べて平年並みと言うようです。

また「平年値」は毎年更新されるわけではなく10年おきに更新され、今年は「平年値」を更新する年だそうです。近年は暑い夏、割と暖かい冬と異常気象が続いています。これが当たり前となつて「平年」とならないよう祈るばかりです。

この原稿が皆様の手元に届く頃には梅雨は明けているのでしょうか、まだまだうっとうしい雨が降っているのでしょうか。災害もなく、コロナも終息して普通に過ごせる夏が待ち遠しいばかりです。

● 令和3年度 敬老記念行事

※令和3年9月に開催を予定しておりました敬老の日記念行事は、新型コロナウイルス感染拡大の防止に伴い、中止させて頂くこととなりました。

お知らせ

【次回潮流発行予定日】
9月1日 第281号

※この度、若潮の会は、野間 久生さんから佐々木 照彦さんへ代表者が変更いたしました。

※大津島地区コミュニティ推進協議会では支所内に「生活支援サービスセンター」を設け、島民の皆さんの困りごとに対応するための準備（有償）を進めています。

令和4年度の本格的運営に向けてのアンケートを行っていますので、ご協力をお願いいたします。

大津島地区社会福祉協議会からのお願い

善意銀行への寄付にご協力ください

※令和3年6月に北部球技大会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、中止となりました。

7月4日（日）十人墓供養祭（瀬戸浜地区）
中止になりました。

移動図書館 やまびこ号ジュニア
7月24日（土）、8月11日（水）
馬島11：30～ 刈尾12：20～

【編集後記】
オリンピックが近づいて来ました。経済のために開催か…。こんな世の中になるとは、思いもありませんでした。早く元の生活に戻るために、スーパームーンに祈りたかったのですが当日は、天気が悪く残念でした。
文責：原田 和保

知っちょるかね 母から子へ？

昔はよう、饅頭を炊いたよねと、このところ話す。島で言う饅頭は握り拳大のさんきらいの葉をして蒸した物で、食べるとほのかに炭酸の香りがして、年を取った今、それが母の顔や七日日の海を思い出させる。

昔、海の側に墓があった時代は、七日日には泳いで海から上がって、墓に手を合わせまた泳ぐのを、七回繰り返していたものだったそうだ。その時供えてあるのが饅頭で、泳いでお腹が空くとそれを食べてまた泳いでいたそうだ。浜を吹く風に湿りが含まれるまで泳いで、帰ったら夕食までにまた饅頭を頬張る。なにせ饅頭は大そうけにいっぱい作ってあるのだから、翌日のオヤツも饅頭だろう。母親が残った饅頭の大そうけを痛まんように、井戸に吊るしていたものだ。

さて翌日、学校から楽しみに帰って見たら、饅頭の入っていた大そうけが、上がり端に空で置いてある。一足早く帰った妹弟が、友達にええ顔をして皆で食べたと言う、口の中は饅頭の甘い味でいっぱいなのにと、食い物の恨み、妹弟を追いかけまわして騒ぐ。



文二松本 千恵子

見かねた母親が、仏様に一つあるけん、それを食べりゃあえかろうと最後の一つを食べさせてくれた。後で考えるとそれは最後に一つ、母親が食べられるものじゃったんよね。申し訳ない。などと、昔を思う内、どうでも一回、炭酸饅頭を作ってみようと思ひ立ち、この前から何度か作ってみた。粉と炭酸の割合はグーグル先生にお伺いをたて、小麦粉二百グラム、炭酸四グラム、卵砂糖酒を捏ねて、前日作っておいた餡（あん）をつつみ葉蘭を敷いて蒸した。ぜんぶ、生き方と同じ、これ位なものでいいじゃろうで作った饅頭は、悲しいかな、餡（あん）は練りがたらず、皮は固く散々な出来上がりだった、この数ヶ月。人間七十になっても反省しきり。たかだか田舎饅頭一つ出来んとはね。じゃから、また作ろうと思う。母親の味に近づくまでは、上手く出来たらよぶよ。

徳山湾見聞録

27 今度はボートから再登場させていただきます

文二大津島巡航 三崎 英和

潮流5月号で「お世話になりました」欄にメッセージを掲載させてもらったばかりですが、再び登場させていただきますことになりました。

今年の4月から、これまで大津島巡航の船に乗る立場から、乗っていただく立場とならせていただいています。大津島とは深い関係のある業務ということで、引き続き原稿を書かせていただきます。よろしくお願いいたします。

ところで皆さんもうご利用されていると思いますが、3月1日から大津島巡航の事務所は、新しくなったポートビルの1階に引越しました。

朝の出勤時には、新しいビルのにおいや、飲み物コーナーに設置してある挽きたてコーヒーが飲めるとある自販機からもれてくるその香りが、リラックスした気分にならせて

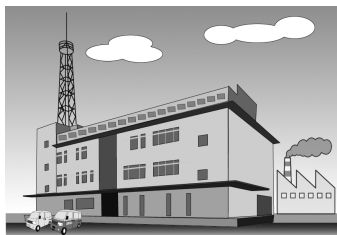


イラスト 三崎 英和

くれます。それと待合ホールの南及び西側壁面は、すばてガラス張りとなっていることから、港や工場の景色もよく見え、特に竹田津行きのフェリーが着岸してくるときは、結構、迫力を感じます。残念ながら4階の展望デッキはいまだに施錠されているので普段は見学できませんが、開放されれば、晴海ふ頭越しに、洲島や馬島、そして三ツ石あたりまで眺めることができますよ。

ビルの周辺は、いまだに工事中で、皆様にはご不便をおかけしますが、今しばらくお待ちいただけたらと思います。